

まちが学び舎 Letter

“ふるさとから豊かな生き方を学ぶ”「ふるさと・キャリア教育プロジェクト」

2021. 10. 25

担当：学びの場クリエイター 西村



10月23日(土)

第2回子ども広場「砂浜大作戦」

(黒潮町こどもサポートセンター主催)

町内の小学生26人と未就学児1人が参加しました。

まずは、幡多青少年の家・体育館に集まり、仲間づくり活動からスタート。「じゃんけんゲーム」「ボール運び」で、一気にみんなが仲良く、班の結束が高まりました。

『みんなとつながってちからをあわせたから、みんなとなかよくなれたきがする。』



その後、歩いて浮津海水浴場へ移動。お弁当を食べるための日かけ「タープづくり」。竹3本までとブルーシート1枚を使い、挑戦！

『子どもではふつうできないけど、できてすごいな！と思った。』

『ちえをいかしてできたのでよかったです。』

『むずかしかったけど、楽しかった。』



最後は、砂の彫刻「砂像づくり」。砂と水の感触が気持ちいい！

『砂像をつくる時にくずれたけど、またつくりなおせるので砂ってすごいと思いました。』

『大きいダムを作れてよかったです。』

『クジラがきれいにできてうれしかった。』

校舎だけでなく、自然も学び舎。学校だけでなく、地域の中にも学びのプログラム。

“まち全体を学び舎に”のプロジェクトを進めています！

『二回もおれてくやしかったけど、さいごはおしろができてうれしかったです』



『じゃんけんで、かったから たのしかった。』



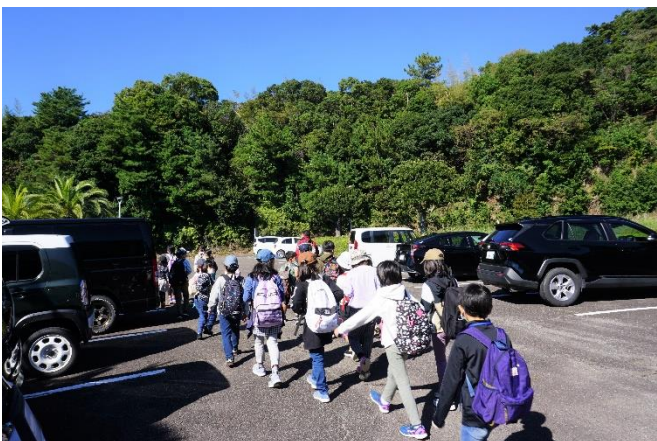
『さいしゅうてきに、うまくなれたのでよかったです。』



『たのしかったことはボールはこびです。なぜなら、きょうりよくできたからです。』



タープづくりのために、ロープの結び方を練習。説明を見て、考えて、やってみる・・・



快晴のもと、砂浜へ移動！



竹とシートとロープだけで・・・？



『タープづくりで、竹がうまくささらなかったけど、くふうしてできたのがいいなと思いました。』



『何回もたおれて直すのは大へんだったけど、何回もくりかえしてできて、学校でいかしたいです。』



『タープづくりで、ちょっとむずかしかったけど、みんなで作れてうれしかったです。』



『あおいちゃん（リーダー）が、メンバーをまとめていたのでよかったです。』



できあがった日かげで、お弁当ときゅうけい。



砂像にかざる、小人づくり



水と砂を混ぜたドロドロをにぎって、少しずつ落とすと… 木のような形に。感触がきもちいい！



『たのしかったことは、さぞうをつくるのがたのしかったです。』



『竹とひもでつくるところがむずかしかったです。またできるならやりたいです。』

